

# 中央卸売市場再整備の在り方検討概要について

資料 2

## 1 検討項目

- ① 中央卸売市場が目指すべき将来像を検討する
- ② 将来の中央卸売市場にとって必要な機能・施設・規模の在り方を検討する
- ③ 市場エリアの賑わい創出機能など利活用策を検討する

## 2 目指すべき将来像の検討にあたって

### (1) 市場を取り巻く現在及び今後の社会情勢の整理

- ①市場取引の現状と改正卸売市場法施行後の影響予測  
卸売市場経由率の低下、集荷における委託割合の低下(買付割合の増)、取引におけるせりの減少(相対取引の増加)、取引ルールの規制緩和による物流の変化
- ②生産者の高齢化及び後継者不足
- ③消費者人口動態の変化に伴う食の需要の変化  
少子高齢化、単身世帯や共働き世帯の増加に伴う食の外部化・加工品需要の増加
- ④食に対する安全安心志向の高まりや食品衛生法への対応
- ⑤情報通信技術の急速な進展
- ⑥運送業界の人手不足に伴う物流確保への対応
- ⑦自然災害の頻発化・甚大化への対応
- ⑧金沢港クルーズターミナル整備や北陸新幹線全線開業による外国人観光客等の増加
- ⑨公共サービスへの民間活力の積極的導入

### (2) 中央卸売市場経営戦略（H23年度）及び中長期経営戦略（H27年度）に掲げている施策のローリング

- ①施設の改善…市場機能の高度化、きれいで環境にやさしい市場
- ②良い商品が豊富に集まる市場…産地開拓、卸売市場間連携、地場商品の育成
- ③信用と信頼の市場…地元小売業等の支援、スーパーマーケット対応の支援、新商品の開発、新マーケットの開発
- ④品質管理の向上…有害物品の検査体制とトレーサビリティの確保
- ⑤事業の協業化等コスト削減…事業統合やICTを活用した事務の効率化
- ⑥人材の育成…経営能力の向上、現状を打破する意識改革
- ⑦市場運営の効率化…市場会計の健全化、管理運営体制の効率化
- ⑧北陸新幹線開業効果を持続するPR戦略…金沢の食文化発信、市場認知度の向上

## 3 将来の市場にとって必要な機能・施設・規模の在り方の検討にあたって

### (1) 「卸売市場の今後のあり方検討会」で出された意見

- ①将来の物流の急激な変化を見据えたフレキシブルな施設整備
- ②40フィートコンテナや連結トラックに対応した施設整備
- ③食の外部化への対応
- ④使用料や整備費を抑制するため、市場業者による施設整備も実施
- ⑤PFI等民間活力導入可能性の検討

### (2) 国の「卸売市場に関する基本方針」に定める卸売市場の施設整備の在り方

- 売場施設、駐車施設、冷蔵・冷凍保管施設、輸送・搬送施設、加工処理施設、情報処理施設等、円滑な取引に必要な規模及び機能を確保  
開設者の指定を受けて卸売業者、仲卸業者等が保有する卸売市場外の施設を一時的な保管施設として活用し、卸売市場の施設の機能を有効に補完
- ①流通の効率化  
トラックバース、選別施設等の整備、物流導線の考慮、他市場との連携等
- ②品質管理及び衛生管理の高度化  
低温卸売場や閉鎖型施設等によるコールドチェーンの確保、品質管理認証の取得に必要な衛生設備の整備等
- ③情報通技術その他の技術の利用  
IoTの導入等による保管施設の在庫状況や物流センターの出荷・発注状況などをリアルタイムで把握
- ④国内外の需要への対応  
加工施設、小分け施設、パッケージ施設、輸出拠点施設等の整備
- ⑤関連施設との有機的な連携  
卸売市場の機能を一層有効に発揮できるよう市場内外で関連施設を整備

## 4 市場エリアの賑わい創出機能など利活用策の検討にあたって

### (1) 駅西地区及び市場エリアを取り巻く今後の動向

- ①金沢港クルーズターミナルの完成（2020年春）
- ②ハイアット系ホテルの開業（2020年6月）
- ③北陸新幹線の延伸（敦賀2023年春）及び全線開業
- ④日本銀行金沢支店の移転 など

### (2) 市場エリアにおける賑わい創出機能など利活用策例

- ①金沢の食文化や旬の食情報の発信機能  
市場の旬の食材を味わえる飲食施設、食のアンテナショップ など
- ②市民や観光客に開かれた市場機能  
見学者コースの整備、定期的な「市」などイベントの開催 など
- ③市場会計の収益増につながる機能、施設  
道の駅的な施設、物流センター、場内施設及び駐車場の有効利用 など